

第 9 . 健康管理と指導の重点

1 . 本年度の達成目標

(1) 体力増進

耐寒訓練等により、生徒が積極的に体力の増強を図れる指導に努める。

(2) 個別指導

健康診断の結果をもとに保護者、医師との連絡を緊密にし、学校生活及び日常生活を通して個別指導を適切に行う。また、心身の健康に関する相談活動は、保健室・生徒相談委員会を中心に保護者、関係教職員との連携を密にしながらその充実に努める。

(3) 事故防止

学校保健安全計画に基づき、学校環境衛生の管理と安全指導を行い、生徒の事故防止に努める。

2 . 学校保健安全計画

(1) 学校保健計画

ア. 教科学習・ホームルーム・学校行事等を通して、教職員が保健管理に熱意をもって当たる。

また、緊急時に対応できるように全教職員に対し、心肺蘇生法等についての校内研修を 1 学期中に実施する。

イ. 疾病予防対策として、定期及び随時の健康診断と日常の健康相談、教育活動を通してその早期発見と予防に努めるとともに綿密な事後指導を行い、生徒が自らの健康増進に努めるように指導する。

なお、エイズについては指導資料に基づいて校内研修を実施し適切な指導に努めるとともに、病原性大腸菌 0 - 1 5 7 等の食中毒防止や覚せい剤の乱用防止について啓蒙・指導に努める。

学校保健安全年間計画表

月	目標	健康管理	環境衛生	保健指導	組織活動
4	各自の健康・体力を認識させ、向上に努めさせる。	保健調査	清掃分担・用具整備	学校管理下に於ける事故対策	保健体育部会 (週 1 回)
5		定期健康診断	大掃除(行事毎)	生徒保健・美化・空調委員の選出	生徒保健・美化・空調委員会の活動
6		遠足に伴う健康管理 体育大会に伴う健康管理	校内安全点検 光化学スモッグ対策 食堂衛生状態点検 検査(プール・飲料水)	定期検診の事前指導 施設・器具の使用 (体育・理科・家庭・芸術・LHR) 体育活動と健康について事前指導 覚せい剤について指導 防火防災指導 食中毒について指導 エイズについての学習	保健だより 清掃点検 各種検査への協力 PTA 生徒厚生委員会

月	目標	健康管理	環境衛生	保健指導	組織活動
7 ・ 8 ・ 9	規則正しい生活 ・ と丈夫なからだ づくり	部活動合宿に伴う健康管理と臨時検診 疾病異常者の治療勧告 定期検診の結果報告 疾病異常者の事後処置追跡 文化祭に伴う健康管理	プール水質管理 校内安全点検 光化学スモッグ対策 校舎・校庭の整備 通学路の安全点検 大掃除(行事毎) 休暇中の清掃分担	心肺蘇生法講習会 夏季部活動安全講習会 休暇中の健康指導 休暇中の疾病治療指導 休暇中の疾病・事故者の把握と事後指導	保健体育部会 生徒保健委員会 PTA生徒厚生委員会 体育大会実行委員会 保健だより
10 ・ 11 ・ 12	健康管理を充実 ・ させる	校外学習に伴う健康管理と臨時検診	検査(飲料水・照度)食堂衛生状態点検 大清掃(行事毎) 清掃用具整備	防火防災訓練 冬季の健康指導 風邪の予防	保健体育部会 生徒保健委員会 PTA生徒厚生委員会 保健だより
1 ・ 2 ・ 3	健康生活の反省 ・ と次年度の 計画	部活動合宿 (耐寒ハイキング) 反省と次年度保健計画の 原案作成	校内安全点検 3年生授業終了に伴う 清掃分担 教室の空気検査 (CO ₂ 、CO) 大清掃(行事毎) 入試前の大掃除 卒業式前の大掃除	風邪の予防と事後指導 春休みの健康指導	保健体育部会 生徒保健委員会 PTA生徒厚生委員会 保健だより

(2) 学校安全計画

- ア. 環境を清潔にする態度を養い、植樹、花壇の整備、校舎内外の清掃等により学校環境の整備に努める。
- イ. 公害問題、特に大気汚染については、その実態を良く把握し、速やかに対応できる体制をつくる。
- ウ. 火災・震災等の非常災害についての対策、指導に努める。
- ① 安全計画を作成する。
 - ② 活動場所の施設・設備・用器具等の安全点検を行い、学校環境の整備に努める。
 - ③ 部活動における活動場所の競合による事故防止のための調整に努める。
 - ④ 非常災害対策については別に防火・防災訓練実施要領を定めてこれに当たる。
 - ⑤ 教育活動中の事故については、救急病院を指定して速やかに適切な処置を行える体制を整える。また、事故発生時の状況や事後の処理状況等について正確に記録して、事故原因を分析し、以後の事故防止に役立てるように努める。

3. 体育指導計画

(1) 体ほぐしの運動

いろいろな手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自己の体に気付き、体の調子を整え、仲間との交流を豊かにする。

(2) 体力を高める運動

体力測定の結果にもとづき、本校生が全国平均より特に劣っている筋力・持久力の向上を目指して、6種目のサーキットトレーニングを毎時間実施する。内容と行い方について十分に説明し、自ら進んで行える態度を育成する。

(3) スポーツ技能の向上

スポーツを楽しむためには、一つには個に応じて技能が着実に向上していることを実感することが大切である。そのためには全習法や分習法による技術や戦術の練習や、それらの練習内容を工夫する。

(4) 運動と安全

運動の質が高くなる、また量が増えてくると、スポーツ外傷・障害を引き起こしやすくなる。したがって運動の実践に当たっては、自らの健康状態や技能及び体力の程度を知り、スポーツ外傷・障害や疾病を引き起こすことのないよう安全な運動の仕方を工夫する。